

# ウィーンからの手紙

## — 光と陰と —

コトバとピアノデュオでつづる、回想の世紀末ウィーン  
語り：後藤卓也

- J.ブラームス：《ハンガリー舞曲集》より 第1番 ト短調（2台ピアノ編曲：岡崎章）  
R.ワーグナー：歌劇《タンホイザー》より 序曲（2台ピアノ編曲：岡崎章）  
H.ヴォルフ：《アイヒェンドルフの詩による歌曲集》より 第3曲 “秘めた愛”（連弾編曲：岡崎章）  
J.シュトラウス / A.グリュンフェルト：《ウィーンの夜会》より（連弾編曲：岡崎章）  
～ヨハン・シュトラウスのワルツ主題による演奏会用パラフレーズ～  
G.マーラー：交響曲 第5番 嬰ハ短調より 第4楽章“アダージェット”（2台ピアノ編曲：岡崎章）  
※曲目を変更する場合がございます。

2020.10.30 (金)

19:00 開演 (18:30 開場)

サラマンカホール 岐阜市藪田南5-14-53

主催：サラマンカホール

後援：オーストリア大使館 / オーストリア文化フォーラム

*Kayo Ishihara & Akira Okazaki*  
**PIANO DUO CONCERT**

全自由席 1,000円 [サラマンカメイト900円]

※未就学児の入場はご遠慮ください。※車いす席は、サラマンカホールチケットセンターのみの取扱いです。

チケット 発売日 | サラマンカメイト・一般 同時発売 | 2020 7/13 (月)  
※窓口 9:00～ | 電話 10:00～ | インターネット 10:00～

チケットのお求め | サラマンカホール チケットセンター  
058-277-1110 [9:00-21:30]

WEB サラマンカ・  
オンラインチケット

サラマンカホール 検索



オーストリア文化フォーラム



# Kayo Ishihara & Akira Okazaki PIANO DUO CONCERT

2年ごとに企画されてきた「手紙シリーズ」の4回目。ショパン、印象派、ロシアととり、今回は「ヨーロッパの雑踏・ウィーン」の街角に立ってみよう。音楽ばかりではなくクリムトに代表される美術をはじめ演劇や文学でもヨーロッパの芸術をリードし、思想や科学の分野でも先進的で自由な空気の中にいた「ウィーン」。

そこはスラブ、ユダヤ、トルコやギリシャなどが入り混じる交差点であり、ハプスブルグ家の宮都であった。

やがて、第一次世界大戦での敗北、帝政の崩壊、ヒトラーの台頭で「文化的自殺」と言われた混乱の中で「ウィーン」も次の時代へ変わっていくことになる。

そういう雑踏のなかで精神病理学を学ぶ一人の日本人がいた。歌人斎藤茂吉である。茂吉がみた「ウィーン」とは…

成熟のピアノデュオとドラマティックな語りでつづる「ウィーンの光と陰」

## ピアノデュオ 石原佳世 & 岡崎章 Kayo Ishihara & Akira Okazaki

石原佳世と岡崎章によるサラマンカホール主催の「手紙シリーズ」は、『ショパンからの手紙』(2014)、『印象派からの手紙』(2016)、『ロシア・ルネサンス ～銀の時代からの手紙～』(2018)、そして今回の『ウィーンからの手紙 ～光と陰と～』で第4回目を迎え、その個性あふれるピアノデュオの世界観についてはすでにご存知の方も多であろう。

学生時代から共にソリストとして学び、「ピアノの詩人ショパン」への憧れを胸に、彼の生地ポーランドの「ショパン弾き」であったハリーナ・チェルニー＝ステファンスカ女史と、室内楽ピアニストのイェジー・ウコヴィッチ氏から、自国の誇り高き民族音楽の薫陶を受け、多くの国際コンクールに入賞、中でも、石原佳世がドイツ(ダルムシュタット)で開催された第5回ヨーロッパ・ショパンコンクールで優勝したことは、「日本人のショパン」が認められたことを意味し、その後の岐阜県民栄誉賞、岐阜県芸術文化奨励賞などを受賞し

たことは輝かしい功績である。

ポーランド第4の都市ヴロツワフ市にある、W. ルトスワフスキ・フィルハーモニーにおいてピアノデュオによる演奏した際には、地元紙であるGazeta Dolnośląskaを始めポーランドの音楽雑誌や評論家たちに絶賛され、ピアノデュオ世界での可能性を互いに感じる兆しとなり現在に至っている。

2人はピアノ作品だけでなく、歌曲、交響曲、室内楽など、岡崎章によるピアノ連弾、2台ピアノによるトランスクリプション(編曲)作品などによっても独自の響きによる世界を余すところなく繰り広げ、『ロマン派のピアノ ～プレイエル～』(2019)では、1845年にフランスで製作されたプレイエル・ピアノによるコンサートでは、ショパンが愛した当時のピアノによってもその響きや文化までも再現しようと試みるなど、現代におけるクラシック音楽へのアプローチを積極的におこなっている。

## 語り 後藤 卓也 Takuya Goto

劇団芝居屋かいとうらんま座長。俳優、脚本家、演出家。1983年の劇団結成より参加し、ごく初期を除いて座付き作家、演出家。1998年「累～かさね」で池袋演劇祭に出品、審査会特別賞受賞。翌年

には池袋演劇祭招待作品として東京芸術劇場で公演。以降毎年東京公演を行う。2018年大垣市民創作劇「芭蕉殿、事件でござる～百年目の招待状」の台本を執筆。

## 台本・演出 金子 根古 Neko Kaneko

「石原佳世&岡崎章ピアノデュオ、手紙シリーズ」の企画を立ち上げ、1回目の「ショパンからの手紙」(2014)から台本と演出を担当。「語り

に描かれる歴史と社会の文脈の中で、音楽を聴く」という新しいコンサートスタイルを作った。2011年からサラマンカホールのスタッフ。

### サラマンカメイトのご案内

#### 特典

- チケットの先行販売
- チケットの割引(1公演2枚まで)
- ダイレクトメールによるコンサートのご案内
- グッズコーナーでの割引

※お電話(058-277-1110 入会申込書を郵送)および、インターネットでも受付けております。  
※年会費2,000円  
※入会申込書は、サラマンカホール チケットセンターにご用意しています。  
※年会費の口座振替もご利用ください。

### 交通アクセス・駐車場



#### 自動車

- JR西岐阜駅から車で約5分(南口タクシー乗り場より約2km)
- JR東海道新幹線・岐阜羽島駅および名神高速道路・岐阜羽島ICより車で約20分 ●無料駐車場完備

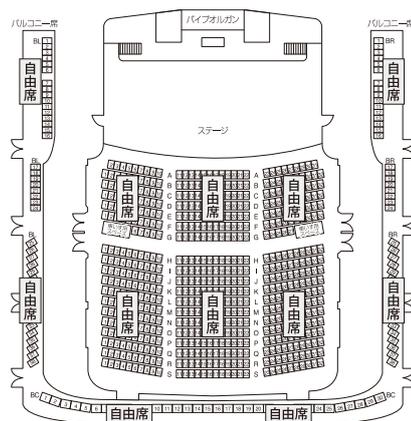
終演後に西岐阜駅まで無料マイクロバスを運行します 正面玄関前(北側)から出発します。

#### 公共交通機関

- JR岐阜駅(北口)より「岐阜バス」で約20分
- 名鉄岐阜駅より「岐阜バス」で約25分
- JR西岐阜駅(南口)より「西ぎふ・くるるバス」で約12分
- JR東海道本線・名古屋駅から西岐阜駅まで約23分



### 客席のご案内



※新型コロナウイルス感染防止のため、販売枚数を制限する場合がございます。